

事務事業事後評価表

《基本情報》

事務事業の名称 【1】	社会福祉支援事業		所管課【2】	総合福祉課
			評価者(担当者)	井上和宏
総合計画での位置付け 【3】	基本目標(章)	⑤いきいきと暮らせる福祉のまちづくり		
	主要施策(節)	(3)社会福祉の充実		
	施策区分 (市民意識調査結果)	(4)地域で支え合う体制づくり		
		<input type="checkbox"/> 【A】重点改善領域 <input checked="" type="checkbox"/> 【B】重点維持領域 <input type="checkbox"/> 【C】観察領域 <input type="checkbox"/> 【D】維持領域		
実施の根拠 (複数回答可) 【5】	<input type="checkbox"/> 市長公約 <input type="checkbox"/> 新市建設計画【 年度予定 : 金額 千円】 <input type="checkbox"/> 法令、県・市条例等【 】 <input type="checkbox"/> その他の計画【 】 <input checked="" type="checkbox"/> 該当なし			
事業区分 【6】	<input checked="" type="checkbox"/> ソフト事業 <input type="checkbox"/> 義務的的事业 <input type="checkbox"/> 建設・整備事業 <input type="checkbox"/> 施設の維持管理事業 <input type="checkbox"/> 内部管理事務 <input type="checkbox"/> 計画等の策定事務			
会計区分 【7】	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別・企業会計【 】 款 3 項 1 目 1 細目 6			

《事務事業の目的》

事務事業の実施背景(どのような問題又はニーズがあるのか) 【8】	社会福祉や福祉関係団体に対する財政的支援も必要であるため。
対象(誰、何に対して) 【9】	社会福祉関係団体等
意図(どのような状態にしたいのか) 【10】	社会福祉関係団体等に補助金の支援を行うことにより、それらを取り巻く福祉の向上や福祉活動の支援を図る。

《事務事業の概要》

事業期間 【11】	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 【 年度】 【 H17 年度から】 【 年度～ 年度まで】
事業主体 【12】	<input type="checkbox"/> 国 <input type="checkbox"/> 県 <input checked="" type="checkbox"/> 市 <input type="checkbox"/> 民間 <input type="checkbox"/> その他【 】
実施方法 【13】	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金等交付 <input type="checkbox"/> その他【 】
事務事業の具体的内容 【14】	①社会福祉協議会に補助金を交付する。 ②ボランティア拠点であるボランティアセンターに補助金を交付する。 ③更生保護者の見守りを行う保護司会に補助金を交付する。 ④更正保護者の就労支援の連絡調整を行う団体に補助金を交付する。 ⑤市民が香典の一部を社会福祉への寄附とした場合に社会福祉協議会の代わりに受領し引き渡す。
	事務事業を構成する細事業【15】 ⇒ ① 社会福祉協議会支援事業 ② ボランティアセンター運営支援事業 ③ 保護司会支援事業 ④ 熊本くりの実会玉名支部支援事業 ⑤ 香典返受領事業

《事務事業実施に係るコスト》

		H24年度決算	H25年度決算	H26年度決算	H27年度予算	全体計画
投入コスト	事業費(千円)	国庫支出金				
		県支出金				
		起債				
		受益者負担				
		その他				
		一般財源	84,584	84,374	90,898	93,612
	【16】 小 計	84,584	84,374	90,898	93,612	0
[再掲]臨時・非常勤職員人件費(千円)		0	0	0	0	
職人 員 の 費	職員人工数	0.05	0.05	0.20	0.20	
	職員の年間平均給与額(千円)	5,610	5,424	5,424	5,424	
	【17】 小 計	281	271	1,085	1,085	
合 計		84,865	84,645	91,983	94,697	

《事務事業の手段と活動指標》【18】

事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	H24実績	H25実績	H26実績	H27計画
① 社会福祉協議会支援事業	地域福祉活動推進団体である社会福祉協議会に補助金を交付する。	補助対象職員数	人	17	16	16	17
② ボランティアセンター運営支援事業	ボランティアセンターに補助金を交付する。	活動日数	日	201	291	266	300
③ 保護司会支援事業	社会復帰する保護観察者を支援する会に補助金を交付する。	定例会	回	5	6	6	6
④ 熊本くりの実会玉名支部支援事業	保護観察者の就労支援を行う会に補助金を交付する。	協力参加団体	団体	48	48	50	50
⑤ 香典返受領事業	香典の一部の寄附を社会福祉協議会へ引き渡す。	香典返件数	件	188	177	200	180

《事務事業の成果》【19】

成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明	単位	H24目標	H25目標	H26目標	H27目標
			H24実績	H25実績	H26実績	
1 社会福祉協議会独自事業実施回数	独自事業の実施回数	回	13,000	13,000	13,000	13,000
			12,685	12,489	12,587	
2						

《事務事業の評価》

評価項目		評価の視点	評価	評価の説明
妥当性 (判定) A	実施主体の妥当性【20】	市が実施すべき事業か。また、民間やNPO等他の団体では実施できない事業か。	<input type="checkbox"/> 問題あり <input checked="" type="checkbox"/> 問題なし	社会福祉協議会及びボランティアセンターは市のボランティア活動の拠点であり実施主体・目的の妥当性も十分にあり、廃止した場合の影響は極めて大きい。保護司会やくりの実会の保護観察者の社会復帰支援活動も重要である。
	目的の妥当性【21】	税金を使って達成する目的か。また、市民ニーズの低下により役割が薄れていないか。	<input type="checkbox"/> 問題あり <input checked="" type="checkbox"/> 問題なし	
	廃止・休止の影響【22】	事業を止めた場合、受益者に不利益が生じる等の影響があるか。	<input checked="" type="checkbox"/> 影響あり <input type="checkbox"/> 影響なし	
有効性 (判定) A	目標の達成度【23】	成果指標の目標値は達成できたか。	<input checked="" type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> 未達成	
	成果向上の余地【24】	成果がもっと上がる余地はないか。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	
	上位施策への貢献度【25】	上位施策の目的達成に貢献しているか。	<input checked="" type="checkbox"/> 十分 <input type="checkbox"/> 不十分	
効率性 (判定) A	コスト低減の余地【26】	コストの低減について、これ以上検討の余地はないか。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	
	民間の活用の余地【27】	民間委託など民間活力の活用について、これ以上検討の余地はないか。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	
	執行方法改善の余地【28】	事務事業の執行上、簡素化又は改善できるプロセスはないか。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	
	事業統合の余地【29】	類似する他の事務事業との統合について、これ以上検討の余地はないか。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	
公平性	受益者負担の余地【30】	受益者負担について、これ以上検討の余地はないか。また、対象、負担額等は適切か。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	

《今後の方向性と改善》

今後の方向性【31】	<input type="checkbox"/> 拡充して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 縮小を検討 <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討 <input type="checkbox"/> 細事業の効率化【 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 民間活用 <input type="checkbox"/> 他事業と統合 <input type="checkbox"/> 廃止 】
判断理由及び見直し・改善の具体的内容	社会福祉の向上のため、必要不可欠な事業ばかりであり、それぞれの団体がそれぞれの役割を果たしていることから、今後も支援を継続したい。
昨年からの見直し・改善状況【32】	特になし

■評価責任者記入欄■

評価責任者(課長)の所見【33】	事業の成果については、市民に広く還元される福祉分野の事業であるので、今後も継続していきたい。	評価責任者 松岡 康吉
------------------	--	----------------